

第8回 CINEX 映画塾

映画『湯を沸かすほどの熱い愛』上映記念

中野量太監督トークショー

日時 **1/21(土)**

【上映】13:10~15:15
【トークショー】15:30~16:15
※時間は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

ゲスト **中野量太** 監督

会場 **岐阜CINEX**
岐阜市日ノ出町2-20(柳ヶ瀬・高島屋前)

定員 **290**名

料金 **1,500**円(税込)



“追い焚き”(リピーター)割引
あります

本作を複数回鑑賞する通称「追い焚き」。

本作をご鑑賞の際に岐阜CINEX劇場窓口で割引券をお渡しします。こちらの割引券を持参の方は、2回目以降、通常1,500円のところ、**800円**でご鑑賞いただけます!

※割引券は「第8回CINEX映画塾」も適用可能です。
※限に他の劇場で本作を鑑賞された方は、半券をご持参いただければ、割引券をお渡しします。

- 【主な受賞歴】※1/6現在
- 第41回報知映画賞
作品賞、主演女優賞(宮沢りえ)、助演女優賞(杉咲花)、新人賞(中野量太)
 - 第29回日刊スポーツ映画大賞
主演女優賞(宮沢りえ)
 - 第38回ヨコハマ映画祭
監督賞・脚本賞(中野量太)、助演女優賞(杉咲花)
 - 2016年度新藤兼人賞
金賞(中野量太)
- 【主なノミネート部門】※1/6現在
- 第59回ブルーリボン賞
主演女優賞(宮沢りえ)、助演女優賞(杉咲花)、監督賞(中野量太)、新人賞(杉咲花)、作品賞
 - 第71回毎日映画コンクール
女優主演賞(宮沢りえ)、女優助演賞(杉咲花)、スポニチグランプリ新人女優賞(杉咲花、伊東蒼)、田中絹代賞(宮沢りえ)、脚本賞(中野量太)

岐阜CINEX劇場窓口で本日より販売!

速報!!

映画感想文コンクール 2016

総応募数2,335編から 岐阜県大会最優秀賞 受賞者決定!

低学年の部
岩田 みのり
垂井町立東小学校2年
【ルドルフとイッパイアッテナ】

中学年の部
近藤 心音
各務原市立中央小学校4年
【わたしはマララ】

高学年の部
宮本 悠美
岐阜市立三輪南小学校5年
【ルドルフとイッパイアッテナ】

映画部No.1 菊池亜希子さんのオススメ作品!

強く愛する母の愛を受けた娘が、どんなにたくましく生きていく姿が印象的だった。物語のラストでタイトルの意味を理解した瞬間、熱い鳥肌が立った。どんなに強くても、女はみんな誰かの娘。たくましく生きていても、危うくて眠い。守りたいものを強く強く抱きしめることで、自分自身をきつと守られているのだと思う。



湯を沸かすほどの熱い愛

1/7(土)▶27(金) **3週間限定上映**

余命2ヶ月。私には、死ぬまでにすべきことがある。死にゆく母の熱い想いと想像もつかない驚きのラストに、涙と生きる力がほとばしる家族の愛の物語。

映画部が全力でお薦めしたい熱き傑作!宮沢りえの代表作の誕生を、あなたの涙と共に確認してください。映画館で観るべき大切な1本。

「湯気のごとく、店主が蒸発しました。当分の間、お湯は沸きません。」銭湯「幸の湯」を営む幸野家だったが、1年前、父一浩がふらっと出奔してから休業していた。母・双葉は持ち前の明るさと強さで、パートをしながら一人娘・安澄を育てている。ある日、パート先で倒れた双葉は、余命わずかという宣告を受ける。残酷な現実を受け入れた双葉は、“絶対にやっておくべきこと”を決め、実行していく。それは、家出した夫連れ帰り家業の銭湯を再開させる、気が優しいすぎる娘を独り立ちさせる、娘をある人に会わせる、というものだった。双葉の行動によって、家族の抱えていた秘密はなくなり、彼らはぶつかり合いながらもより強い絆で結びついていく。そして家族は、究極の愛を込めて母・双葉を葬ることを決意する。

宮沢りえ、杉咲花、オダギリジョー、松坂桃李、伊東蒼、篠原ゆき子、駿河太郎
監督・脚本:中野量太 配給:クロックワークス 時間:125分 ©2016「湯を沸かすほどの熱い愛」製作委員会 **日本**

ミス・シェパードをお手本に

1/14(土)▶27(金)

その高貴な香りは、彼女の“体臭協奏曲”だ—オンボロの黄色い車で暮らす誇り高き淑女と劇作家の奇妙な共同生活を描いた感動作

ロンドンのカムデン、グロスター・クレセント通り23番地。ベネットがここに家を買うずっと前から、ミス・シェパードはこの通りで暮らしていた。住人たちは彼女に親切に声をかけたり食べ物差し入れたりするが、お礼を言うどころか悪態をつけばかり。やがて、路上駐車を止められ追い立てられる日が来たとき、ベネットはひとまずうちの駐車場に車を入ればと親切心から提案してしまった。一時避難のために気軽に提案したつもりが、15年の歳月が流れた今、ミス・シェパードはベネット宅の駐車場で自由気ままに暮らしている。変わり者の彼女に深入りする気はなかったが、やたらと音楽に詳しくあったり、突然フランス語をつぶやいたりする、その謎めいた存在に作家として好奇心をかきたてられずにはいられない。そんなある日、彼女の真実が明らかになる…。

マギー・スミス、アレックス・ジェニングス、ジム・ブロードベント、フランシス・デラ・トウアー
監督:ニコラス・ハイチナー 配給:ハーク 時間:103分 ©2015 Van Productions Limited, British Broadcasting Corporation and TriStar Pictures, Inc. All Rights Reserved. **イギリス**

幸せなひとりぼっち

1/7(土)▶20(金)

スウェーデンで5ヶ月を越える大ロングランになった心温まる国民的映画 人付き合いが苦手な頑固な老年男の凍てついた心が少しずつ解きほぐされていく—

愛する妻を亡くした孤独な中年男オーヴェ。かつて町内の自治会長を務めるなど、規律に厳しい人間として知られていたが、今や、望まれない見回りを日課とする厄介なおじさんと化していた。さらに、43年間全うしてきた鉄道局職員の仕事を突如クビになってしまう。孤独に耐え切れなくなったオーヴェは、自宅の天井にロープをかけ、首つり自殺を図る。ところがその時、向かいの家に引越してきたパルヴァネ一家の車がオーヴェの家の郵便受けにぶつかってしまう。自殺どころではなくなったオーヴェは烈火のごとく怒り、挨拶もせず運転を代わり、駐車場にきれいに車を止め、文句を言いながら家に帰る。翌日、お詫びのペルシャ料理を届けに来たパルヴァネ。生き方も考え方も違う二人だったが、この美味しい手料理をきっかけに、思いがけない友情が芽生えていく。

ロルフ・ラスゴード、イーダ・エングヴァル、バハー・パール ほか
監督・脚本:ハンネス・ホルム 配給:アンプラグド 時間:116分 ©Tre Vänner Produktion AB. All rights reserved. **スウェーデン**

ブルゴーニュで会いましょう

1/28(土)▶2/10(金)

バラバラになった家族を再生させるのは、幸せをもたらす1本のワイン フランス映画史上初、全編ブルゴーニュ地方で撮影されたヒューマンドラマ

20歳で故郷ブルゴーニュを離れて、パリで著名なワイン評論家となったシャルリ。順風満帆な人生を送る彼だが、ある日、実家のワイナリーが経営不振で買収寸前だということを知られる。久しぶりに実家に戻り、父親と再会するシャルリだが、長い間疎遠になっていた溝はなかなか埋まらない。「ワイン造りは家族で行うもの」という代々の家訓を守ってきた父は、家を捨てて出て行った息子を許すことができず、シャルリもそんな父親を疎ましく思っていた。しかし、家業であるワイナリーを手放すことは、家族の思い出が詰まった家を失うということ。シャルリは悩みながらも、自身の手でワイナリーを再建することを決意する。葡萄栽培やワイン造りは全く素人のシャルリは、妹夫婦と隣家の一流ワイナリーの娘ブランシュに助けられながら、その真髄に近づいていく。

サルマ・ハエック、ヴァンサン・カッセル、トビー・ジョーンズ、ジョン・C・ライリー
監督:マッテオ・ガロネ 配給:東北新社 STAR CHANNEL MOVIES 時間:133分 ©2015 ARCHIMEDE S.R.L. - LE PACTE SAS **イタリア** **フランス**

ダゲレオタイプの女

1/7(土)▶20(金)

「崖辺の旅」の黒沢清監督が遂にフランス映画を撮り上げた。新たな幽玄の世界観を見いだした誰も見たことのないホラー。その美しい映画の謎を堪能してください!

世界最古の写真撮影方法「ダゲレオタイプ」が引き寄せる愛と死。愛が命を削り、愛が幻影を見せ、愛が悲劇を呼ぶ。

パリ郊外、再開中の街の一角、古い路地に佇む屋敷。ジャンは、そこに住む気難しそうな中年の写真家ステファンの助手として働きはじめた。等身大の銀板には、ドレスを着て空虚な表情を浮かべるステファンの娘マリーが写っている。ステファンは娘をモデルに、ダゲレオタイプという170年前の撮影方法を再現していた。露光時間の長い撮影のため、動かぬように全身を拘束器具で固定されていくマリー。「今日の露光時間は70分だ!」ステファンの声が響く。そんな父の狂気を受け止めながらも、父から離れて自分自身の人生を手に入れたいマリー。そんな彼女に惹かれ、やがて共に生きたいと願うジャン。ダゲレオタイプの撮影を通して、曖昧になっていく生と死の境界線。3人のいびつな関係は、やがてある出来事をきっかけに思いもよらぬ方向へと動き出す。

タハール・ラヒム、コンスタン・ルソー、オリヴィエ・グルム、マチュー・アマルリック
監督・脚本:黒沢清 配給:ピタース・エンド 時間:131分 **PG12**
©FILM IN EVOLUTION - LES PRODUCTIONS BALTAZAR - FRANKS PRODUCTIONS - L'ÉCLAIR Japan Film Partners - ARTE France Cinéma **フランス** **ベルギー** **日本**

岐阜新聞 映画部

【協賛】キリンビール株式会社 **大和証券**
【協力】キネマ旬報社 【企画・制作】岐阜新聞社広告局

映画みんしと倶楽部 1月の活動

「今年こそは何か新しいことを始めたいなあ」と思っているあなた! 岐阜新聞・映画部では、今年の“映画初め”にふさわしいラインアップを用意しました。普段、あまりミニシアター系の作品を見ない方にも、満足してもらえるはずの作品ばかりです! 2017年は映画の世界に入り浸る1年にするというのも、いいんじゃないでしょうか?

男と女 製作50周年記念 デジタル・リマスター版

同時上映:ルルーシュ監督幻の短編『ランデヴー』デジタル・リマスター版

1/28(土)▶2/10(金)

たちきれぬ過去の想い。それでも惹かれ合う男と女。フランスが誇る不滅のラブストーリーが、50年ぶりにデジタル・リマスター版で甦る!

夫と死別してパリでひとり暮らしのアンヌは、ドービルの寄宿舎に娘を預けている。ある日曜日、娘との面会で長居してしまい、パリ行きの車を逃したアンヌは、同じ寄宿舎に息子を預けるジャン・ルイに声をかけられ、彼の運転する車でパリへ向かう。車内で夫のことばかり話し続けるアンヌ。その姿からは夫が死んでいるとは、とても考えられなかった。一方、カーレーサーのジャン・ルイの妻は、彼が事故を起こしたショックから自殺していた。アンヌの面影を忘れられなかったジャン・ルイは、次の日曜も一緒にドービルに行かないかと電話をかける。お互いの子供を交えて会ったふたりは、お互いの間に芽生えた愛を隠しえなかった。ある日、レースを終えた後、アンヌから「愛してます」と書かれた電報を受けたジャン・ルイは、アンヌのもとに駆けつける。

ジャン＝ルイ・トランティニャン、アヌーク・エーメ、ビエール・バルー ほか
監督・脚本:クロード・ルルーシュ 配給:ドマ・ハピネット 時間:104分 ©1966 Les Films 13 **フランス**

映画みんしと倶楽部 限定上映作品 入場料金

大人	大学生	シニア	高校・中学・小人	サーベデー
(1,800円のところ)	(1,500円のところ)	(1,100円のところ)	(1,000円のところ)	●レディースデー (毎週水曜 女性のみ) (1,100円のところ) ●ファーストデー (毎月1日) ●エリアディナイトサービス (毎日夕方18時以降)
1,500 円	1,300 円	900 円	800 円	900 円

上映作品に関するお問い合わせ **岐阜CINEX** TEL 058-264-7151 (岐阜市日ノ出町2-20(柳ヶ瀬・高島屋前))